

政策情報学会

第17回研究大会



2021年12月4日(土)

オンライン開催

政策情報学会第 17 回研究大会 開催にあたって

テーマ：「新型コロナと政策情報」

2021 年 7 月現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は日本だけでなく世界にも大きな影響を与えており、政治や経済、市民社会のあらゆる領域で対応に追われている。日本国内外の感染者数は増加傾向と減少傾向が繰り返されており、収束する目途もたっていない状況である。

新型コロナウイルス感染症に対応するために、日本では、政府だけでなく地方自治体も対応にあたっている。さらに企業はテレワークを推進したり、学校は遠隔授業を一部導入したりして対応してきた。このように、社会全体で新型コロナウイルス感染症に対応しようとしてきたといえる。

しかしながら、実際の場面では、多くの問題が露見することになった。政治に目を向けると、新型コロナウイルス感染症への対応について政府と地方自治体との間の緊張は、たびたび報道されている。労働では、自宅勤務が推奨され、実際に自宅勤務ができる正規雇用者がいる一方で、職を失う非正規雇用者や、休みたくても休めない医療関係者がいる。また感染者の個人情報やネット上で拡散するといったプライバシーの問題も生じている。コロナ禍では、政治・経済・市民社会のどの領域でも、問題が生じているといつてよい。

それぞれの問題は、その問題に関係する学会で議論され、多くの研究が発表されている。しかし学会の枠を超えて、学際的に議論する動きは始まったばかりである。新型コロナウイルス感染症が社会全体を巻き込み、さらに日本だけでなく地球的問題となっている以上、超領域的かつ包括的に議論をする場として、本研究大会を開催したい。超領域的な議論とは、政治学・経済学・法律学・情報学などの各学問分野を越えて議論するということである。包括的な議論とは、研究者だけでなく、実務家を含め多様なバックグラウンドを持つ人々の間で議論するということである。

本学会の設立理由の 1 つは、学問の枠を超えて、実践的な知見を検討することである。新型コロナウイルス感染症に関して、多くの発表がなされ、活発に議論されることを期待する。そして本研究大会の成果が実践に結び付ききっかけとしたい。

今大会は第 16 回研究大会に引き続き、オンライン開催となります。対面での報告と討論、親睦会はできませんが、移動をしなくても良いという利点もございます。しばらく学会に参加できなかった会員の皆様もぜひご参加下さい。また研究発表の積極的なエントリーもお待ちしております。

政策情報学会第 17 回大会実行委員長
明海大学外国語学部准教授
福井 英次郎

大会参加要領

- (1) 日時 2021年12月4日(土) 10:30~15:40
- (2) 開催方法 オンライン開催
- (3) 大会参加費 無料
- (4) 研究発表 1人あたり発表15分+質疑5分
- (5) 大会本部 ①大会前日まで
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
明海大学外国語学部英米語学科 福井英次郎研究室 宛
E-Mail: taikai-17@policyinformatics.org
- ②大会当日
〒112-8606 東京都文京区白山5-25-20
東洋大学国際学部グローバル・イノベーション学科 市川研究室 宛
E-Mail: taikai-17@policyinformatics.org
- (6) 学会事務局 〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学内
- (7) オンライン Zoomを使用する予定です。
アクセス 詳細が決まり次第、お伝えします。
- 主催 政策情報学会
共催 東洋大学グローバル・イノベーション学研究センター

プログラム

当日は 10:15 から入室いただけます。

開会式	10:30~10:40
開会挨拶：福井英次郎（大会実行委員長：明海大学） 会長挨拶：若井郁次郎（政策情報学会会長：モスクワ州国立大学）	
研究発表（研究大会賞選考報告）	10:45~12:00
座長：朽木量（千葉商科大学） (1人あたり発表15分、質疑5分)	
【報告①】（10:45~11:05） 報告者：太田智之（日本経済大学） 題 目：「新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミック下における在日ネパール人の対処戦略（Coping Strategy）」	
【報告②】（11:10~11:30） 報告者：太田 康友（駿河台大学） 題 目：「アフターコロナに向けた初年次情報基礎教育の再デザインについての検討：初年次情報基礎科目におけるオンライン授業の実践から」	
【報告③】（11:35~11:55） 報告者：山中宏幸（芝浦工業大学大学院（院生））・武藤正義（芝浦工業大学） 題 目：「様子見可能な繰り返し囚人のジレンマを用いた個の連携の可能性：進化ゲームシミュレーションによるアプローチ」	
昼食休憩	12:00~13:15
学会賞選考審査	12:00~12:15
第58回理事会	12:15~12:50
基調講演	13:15~14:15
趣旨説明・司会：福井英次郎（大会実行委員長：明海大学） 講演者：河村和徳（東北大学大学院情報科学研究科准教授） テーマ：「新型コロナと日本」	
休憩	14:15~14:30
パネルディスカッション	14:30~15:30
テーマ：「新型コロナと世界：その影響と対応」 コーディネーター：福井英次郎（明海大学外国語学部准教授） パネリスト：河村和徳（東北大学大学院情報科学研究科准教授） 藤本武士（立命館アジア太平洋大学国際経営学部教授） 菊池啓一（アジア経済研究所副主任研究員） 市川 顕（東洋大学国際学部教授）	
学会賞報告・閉会式	15:30~15:40
学会賞報告：朽木 量（学会賞選考委員長：千葉商科大学） （※オンライン開催のため、学会賞該当者がいた場合は郵送にてお送りします） 閉会挨拶：福井英次郎（大会実行委員長：明海大学）	

【大会の出欠連絡】

○11月22日（月）までに出欠の連絡をお願いいたします。

○今大会はオンライン開催となるため、誰でも自由にご参加いただけますが、予め参加者数の把握するため、可能な限り出欠連絡をお願いいたします。

（出欠フォーム）学会サイト内の研究大会出欠フォームをご利用ください。

（郵送の場合）①所属、②氏名、③メールアドレス、④研究大会の参加有無を記入の上、学会事務局までご連絡ください。

<郵送先> 〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1 千葉商科大学内
政策情報学会事務局 宛

連絡先

第17回研究大会実行委員会

明海大学外国語学部 福井英次郎 宛

E-mail : taikai-17@policyinformatics.org